

名経大通信

第19号

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

2007年1月1日

≡≡≡ 学園創立100周年記念特集 ≡≡≡

P1 祝賀会、800人の盛況

P2 末岡学長のあいさつ

P3~6 グラフィック百年

P7 記念行事の数々

P8 平成17年度決算概要

P9 わたしたちの大学歌

P10 「こんにちは…」FM放送
大口町から感謝状

P11 地域の安全マップ作成

P12 ゼミナール訪問

P14 中国作家の話題作を翻訳



市邨学園創立

100周年記念祝賀会

末岡学長のあいさつ

市邨はその当時、「現代の日本において最も必要なるは人なり」「人とは人材であり、単に仕事のできる人にあらず」との理念を建学の基盤におき、その精神を「一に人物、二に伎倆」の言葉で表し、人間教育の涵養



学校法人市邨学園創立百周年記念祝賀会に、多数の皆様にお越しいただき、盛大に開催できましたことを大変、感謝いたしております。

市邨学園は、創立者の市邨芳樹が女子の商業教育に着眼し、明治四十年に全国に先駆けて「名古屋女子商業学校」を設立いたしました。

に務めました。市邨学園はこれを建学の精神として永く受け継ぎ、今年百周年を迎えることができました。

現在、学園は名古屋経済大学大学院を頂点といたしまして、大学、短期大学、高等学校、中学校、そして幼稚園と、七つの学校を設立する総合学園として発展してまいりました。現在、日本の教育を取り巻く環境は、ご承知の通り、教育基本法の改正の論議にはじまり、初等教育あるいは中等教育、高等教育に至るまで、非常に大きな課題を持って進行しております。百周年を迎えた今、ここで私どもに与えられた使命を再確認し、いま新たに建学精神の具現化と市邨が目指す、より高い人材の育成と人づくりに務めてまいりたいと思っております。

多数の皆様のご出席をいただきまして、学校法人市邨学園創立百周年記念祝賀会ができましたことを、重ねてお礼申し上げます。誠に簡単ではございますけれども、私の挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございます。



盛況、八百名出席 理念と伝統の継承を誓う

市邨学園創立百周年記念祝賀会は十一月十七日午後六時からJ Rセントラルタワー内の名古屋マリOTTアソシアホテルで開かれ、愛知県をはじめ、教育関係者、企業関係者、大学後援会など、八百名の方々を迎え、盛大な雰囲気にも包まれました。

末岡熙章学園理事長・学長のあいさつ（次ページ）に始まり、「私どもに与えられた使命を再確認し、人材の育成と人づくりに努めます」と力強く述べました。続いて、神田真秋愛知県知事から「末岡先生から初代市邨先生のお話を聞かせていただき、（演壇の）肖像写真などを眺めながら、百年の歴史、年輪を実感しています」と祝辞をいただき、

「学園の歴史にゴールはありません。さらにご発展を」と結ばれました。

伊吹文明文部科学大臣、松原武久名古屋市長の祝電が披露され、愛知県私学総連合会の後藤淳会長（名古屋電気学園理事長）の乾杯発声で祝宴に移りました。各方面の参会者それぞれに三々五々うちとけて談笑。「市邨山脈、人脈の広さを知りましたよ」「これだけ多いと人を探すのも大変ですわ」という感想も聞かれました。建学の理念と伝統を継承しようという誓い合い、閉会しました。

なお、当学園創立百周年記念演奏会、講演会はすべて十一月に盛会のうちに終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

一〇〇年という年月の重みは、かるくない



犬山商工会議所会頭
桑原 正則

犬山市にて一九六五年、短期大学が開校されました。私たち市民は、大変うれしく、田舎に大学が来たことと喜びました。一九六七年に保育科を開設され、特に市邨幼稚園は、子供を持つ母親の夢であり、美しいデザインの通園服とお迎えのバスは市民の憧れでした。

一九七九年、四年制大学を開設され、名実ともに大きなキャンパスをもつ名古屋経済大学が全国に認められたことは心からうれしく、地元市民の誇りとなりました。

市内内久保キャンパス、四十二年目の新年は、一〇〇年の過去が過ぎ、新たな一年のスタートです。私は今年が名古屋経済大学の勝負の年であると思っております。

創立者市邨芳樹先生の「今日」六則を学園経営者の方々や、学園より給料を受けている各先生、職員が理解することが一番大切なことだと思います。先生方は努力され、教授等の名譽ある

立場で人に教育されます故、個性強く自分の研究を一人でも多くの人にいろいろな場で発表していただきたい。個性が強いということは、ややもすると不平不満、誤解の対象となりますが、個性の強さこそが先生方の教養と想っています。

現代は「共生」ということがよく言われています。相手のことを良く聞き、自分の意見も主張し、双方が激論しても共に「教育という場」で共に助け合って行き、そして共に生活して行く時代です。小さな事が大事になるし、大きな事を忘れていたりする。それは仕方のないことではなく、本当に大切なことです。

一〇一年目を市邨共生時代の初年度として、素晴らしい学園に発展して下さることを期待しています。そして犬山市民と地域密着しながら、名古屋経済大学、犬山商工会議所、犬山市の産官学三者が力を出し合い共に繁栄していきたいものです。犬山商工会議所が会員と市民に名経大の優れたPRをしやすいように、犬山市が協力しやすいように、三者合意をしたいと思います。

新年にあたり、市邨学園と名古屋経済大学が更に素晴らしい学園、大学になれることと、学園関係者の皆様の幸せを心から願っています。

躍進の足どり



アジアの国々と国際交流本格化(平成13年)



名古屋・栄に
大学院開設(平成12年)



市邨学園短期大学バスケットボール部全国大会優勝(昭和49年)



市邨学園短期大学建設(昭和39年2月19日付の朝日新聞)



創立50周年記念式典(昭和31年11月1日)



モスクワでも公演した津梁エイサー部(平成15年)



私立名古屋女子商業学校(明治40年)



私立名古屋女子商業学校創立当時の教職員と生徒(明治40年)

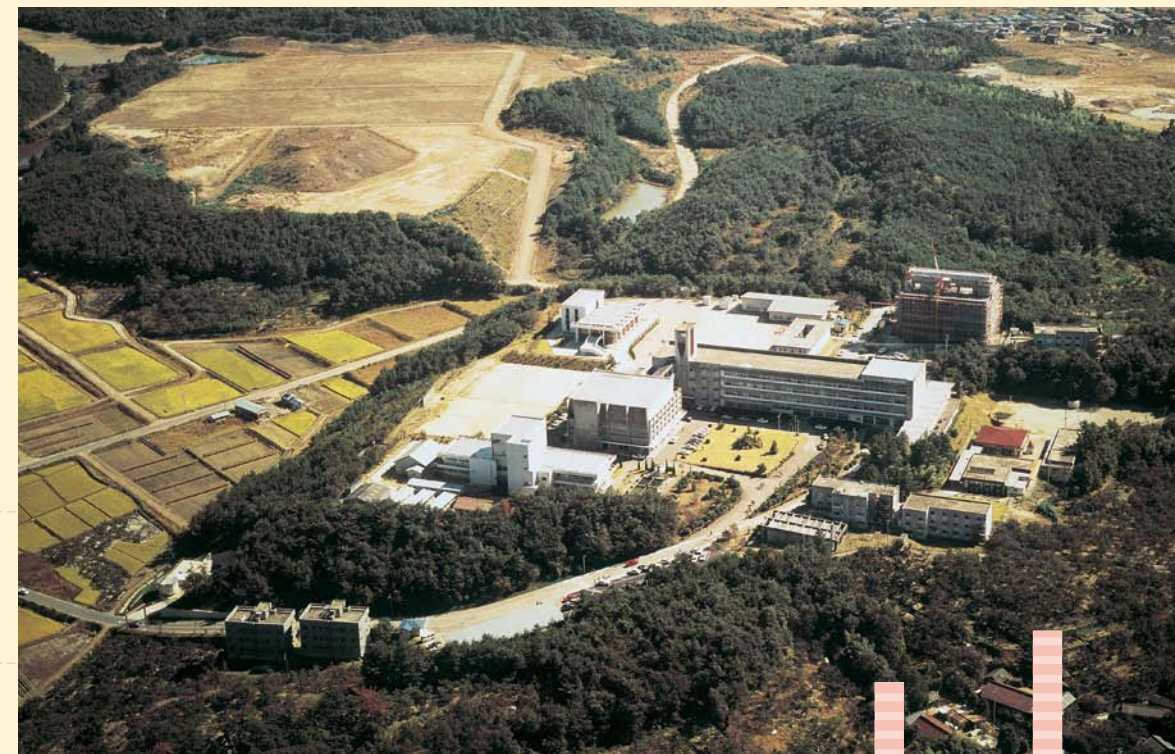
2006 (平成18年)	2005 (平成17年)	2002 (平成14年)	2000 (平成12年)	1986 (昭和61年)	1983 (昭和58年)	1979 (昭和54年)	1972 (昭和47年)	1968 (昭和43年)	1965 (昭和40年)	1951 (昭和26年)	1948 (昭和23年)	1947 (昭和22年)	1945 (昭和20年)	1923 (大正12年)	1920 (大正9年)	1907 (明治40年)
	2005 (平成17年) 改称 名古屋経済大学附属市邨幼稚園	2002 (平成14年) 改称 市邨学園幼稚園	2000 (平成12年) 開設 名古屋経済大学大学院		1983 (昭和58年) 改称 名古屋経済大学	1979 (昭和54年) 開学 市邨学園大学	1972 (昭和47年) 開学 市邨学園短期大学附属幼稚園	1968 (昭和43年) 開学 市邨学園短期大学	1965 (昭和40年) 開学 市邨学園短期大学	1951 (昭和26年) 認可 学校法人 市邨学園	1948 (昭和23年) 改称 高蔵中学校	1947 (昭和22年) 設立 若竹中学校	1945 (昭和20年) 設立 財団法人 市邨学園	1923 (大正12年) 開校 名古屋第二女子商業学校	1920 (大正9年) 改称 名古屋女子商業学校	1907 (明治40年) 開校 私立名古屋女子商業学校
		2002 (平成14年) 校名変更 名古屋経済大学短期大学部		1986 (昭和61年) 改称 高蔵中学校		1972 (昭和47年) 校名変更 市邨学園中学校	1972 (昭和47年) 校名変更 市邨学園高等学校	1968 (昭和43年) 開学 市邨学園短期大学	1965 (昭和40年) 開学 市邨学園短期大学	1951 (昭和26年) 認可 学校法人 市邨学園	1948 (昭和23年) 設立 若竹商業高等学校 (4月~11月) 高蔵女子商業高等学校 (11月~)	1947 (昭和22年) 設立 呉竹中学校	1945 (昭和20年) 設立 財団法人 市邨学園	1923 (大正12年) 開校 名古屋第二女子商業学校	1920 (大正9年) 改称 名古屋女子商業学校	1907 (明治40年) 開校 私立名古屋女子商業学校
		2002 (平成14年) 校名変更 名古屋経済大学市邨中学校		1986 (昭和61年) 改称 高蔵高等学校		1972 (昭和47年) 校名変更 市邨学園中学校	1972 (昭和47年) 校名変更 市邨学園高等学校	1968 (昭和43年) 開学 市邨学園短期大学	1965 (昭和40年) 開学 市邨学園短期大学	1951 (昭和26年) 認可 学校法人 市邨学園	1948 (昭和23年) 設立 若竹商業高等学校 (4月~11月) 高蔵女子商業高等学校 (11月~)	1947 (昭和22年) 設立 呉竹中学校	1945 (昭和20年) 設立 財団法人 市邨学園	1923 (大正12年) 開校 名古屋第二女子商業学校	1920 (大正9年) 改称 名古屋女子商業学校	1907 (明治40年) 開校 私立名古屋女子商業学校
		2002 (平成14年) 校名変更 名古屋経済大学市邨高等学校		1986 (昭和61年) 改称 高蔵高等学校		1972 (昭和47年) 校名変更 市邨学園高等学校	1972 (昭和47年) 校名変更 市邨学園高等学校	1968 (昭和43年) 開学 市邨学園短期大学	1965 (昭和40年) 開学 市邨学園短期大学	1951 (昭和26年) 認可 学校法人 市邨学園	1948 (昭和23年) 設立 呉竹商業高等学校 (4月~11月) 名古屋女子商業高等学校 (11月~)	1947 (昭和22年) 設立 呉竹中学校	1945 (昭和20年) 設立 財団法人 市邨学園	1923 (大正12年) 開校 名古屋第二女子商業学校	1920 (大正9年) 改称 名古屋女子商業学校	1907 (明治40年) 開校 私立名古屋女子商業学校

グラフィック市邨学園の百年(p.3~6)は、学園創設百周年を記念してH18年11月1日に刊行されたグラフィック誌「慈忠忍『三徳』は世紀を超えて 市邨学園100年の歩み」(カラーA4判、134頁)に掲載された写真などを主に紹介したものです。グラフィック誌(1,000円+郵送料)は若干の残部があります。ご要望の方は、下記までメールにてお問い合わせ下さい。
名古屋経済大学 入学広報部 nyugakukoho@kan.nagoya-ku.ac.jp

緑ゆたかな近郊へ

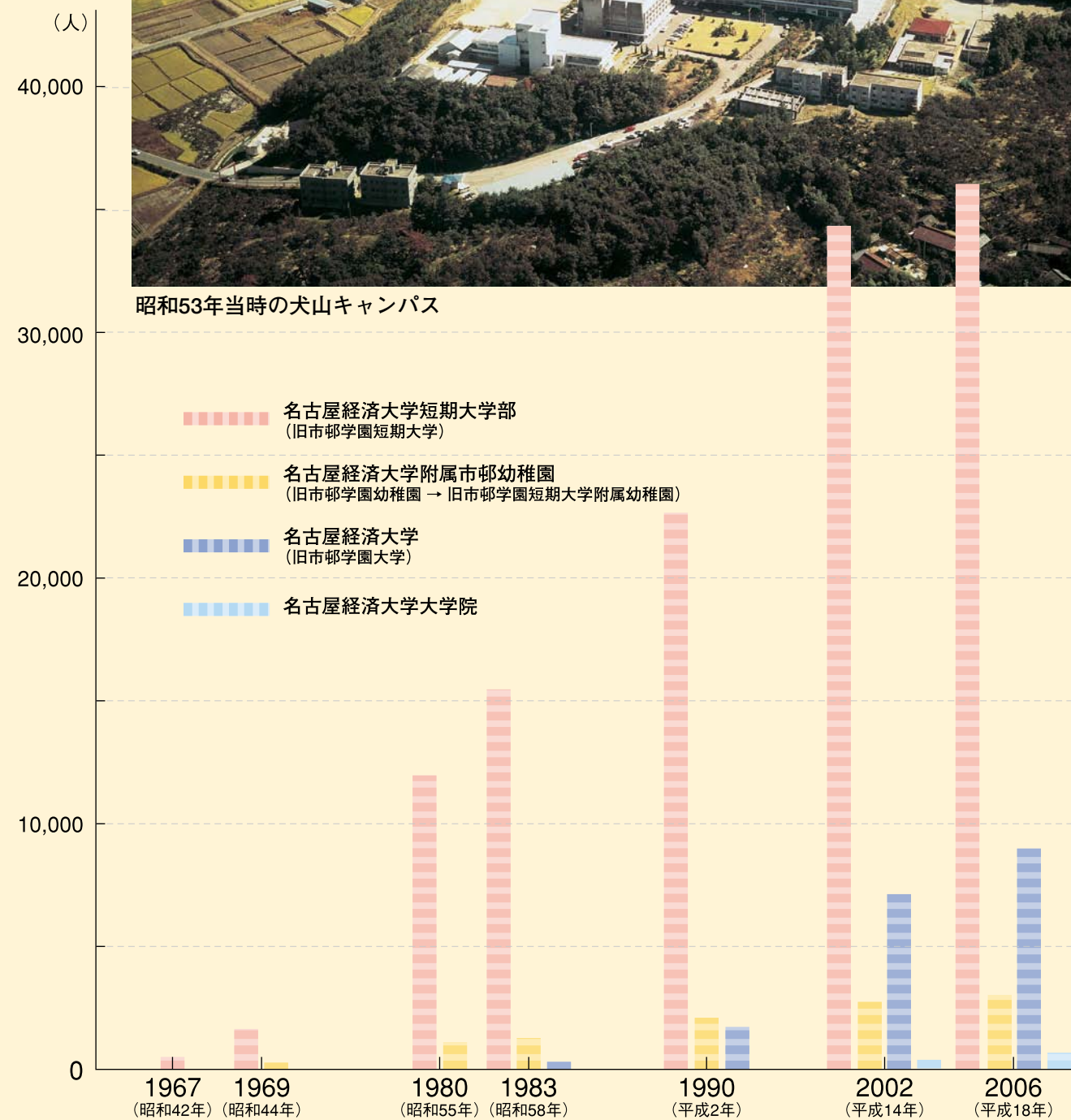
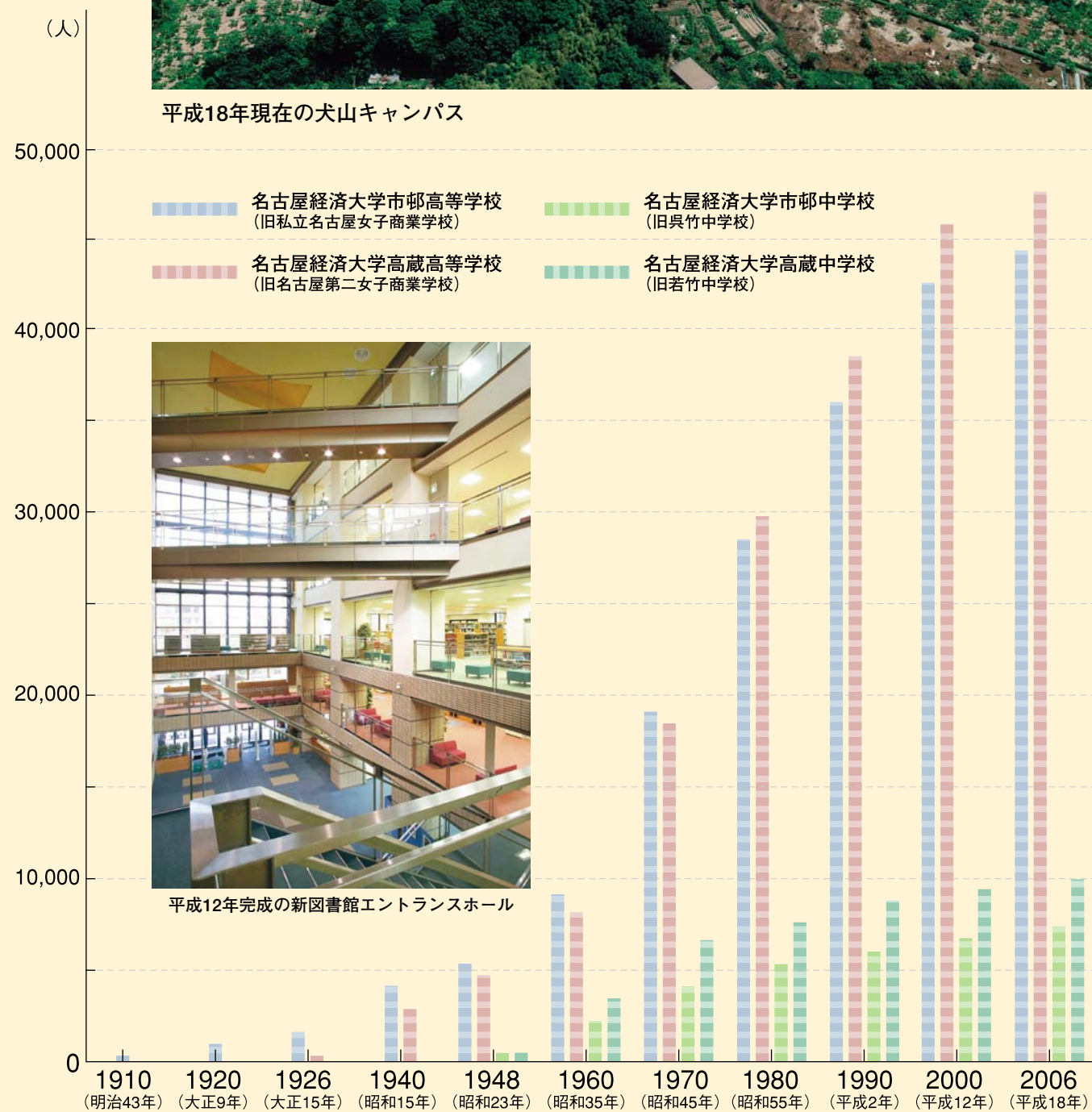


平成18年現在の犬山キャンパス



昭和53年当時の犬山キャンパス

卒業生数推移（累計）



平成17年度学校法人市邨学園決算概要

I. 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、年度中の諸活動に対するすべての収入及び支出の内容と年度中における支払資金のてん末を明らかにするものです。

「収入の部」

学生生徒等納付金収入は、年々減少傾向にあり、前年度比0.6%減少しました。寄付金収入は、市邨学園創立100周年記念事業基金による特別寄付金収入が増加し、前年度比64.6%増加しました。手数料収入は、入学検定料収入が減少し、前年度比4.2%減少しました。補助金収入は、短期大学の補助金が減少し、前年度比1.3%減少しました。雑収入は、前年度比12.8%減少しました。大学及び短期大学の退職者が前年度に比べ減少し、私大退職金財団交付金収入が減少しました。

「支出の部」

人件費支出総額は前年度並みですが、内訳では教職員人件費支出が増加し、退職金支出が減少しました。教育研究経費支出は、修繕費支出が大幅に増加し、前年度比8.3%増加しました。管理経費支出は、公租公課支出が大幅に増加し、前年度比4.7%増加しました。施設及び設備関係支出は、前年度比51.9%減少しました。前年度は、名古屋経済大学高蔵高校・中学整備事業に伴う多額の支出がありました。次年度繰越支払資金は、前年度比27.8%減少しました。

II. 消費収支計算書の概要

消費収支計算書は、年度中の消費収入と消費支出の内容を明らかにし、消費収支の均衡状態を明らかにするものです。帰属収入は、雑収入のうち私立大学退職金財団交付金収入が大幅に減少し、前年度比2.4%減少しました。学校法人会計基準の改正により、当期基本金取崩しが緩和され、各号ごとに組入れと取崩しを差し引き出来るようになりました。当期基本金組入額は、前年度比21.5%減少しました。当年度も消費収支差額は、支出超過額となり翌年度繰越消費支出超過額は大幅に増加しました。

III. 貸借対照表の概要

貸借対照表は、財政状態を明らかにするために、年度末に保有するすべての資産、負債、基本金及び消費収支差額を表示しています。資産総額は、312億9,824万円で前年度比2.1%減少しました。固定資産は、前年度比5.4%増加し、流動資産は前年度比26.2%減少しました。負債の部では、固定負債が前年度比1.8%減少し、流動負債は20.7%増加しました。基本金は、施設及び設備充実により前年度比6.2%増加しました。

IV. 財産目録の概要

当年度正味財産は、24,092,059,115円で前年度比4.4%減少しました。借用財産は、長野県木曾町開田高原研修センター等の土地及び建物です。

学園100周年記念行事 多彩に開催



11月15日愛知県芸術劇場大ホール

野球場・メイングラウンド夜間照明完成

かねてより、各クラブから強く要望されていた、野球場・メイングラウンドの照明設備工事が完成しました。投光器取付架台（6灯用）六基、（16灯用）四基、（22灯用）二基、合計十基に大型スタジアムで多く採用されている高効率投光器新型アクロスタ1を144台設置しました。

田中優子氏講演会

「変わるもの、変わらないもの」

11月23日
名古屋 Marriott アソシア ホテル

養老孟司氏講演会

「バカな大人にならないために」

11月8日
名古屋 Marriott アソシア ホテル

学園の合同同窓会

十一月十二日、ウエステインナゴヤキヤッスルにて、中学・高校、短大、大学、大学院合同の同窓会が開催されました。約三百五十人の同窓生が出席し、本学園出身の歌手チエリッシュの出演もあり盛況でした。

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
① 学生生徒等納付金収入	3,753,595	人件費支出	5,366,479
② 手数料収入	121,548	教育研究経費支出	819,509
寄付金収入	103,827	管理経費支出	450,435
③ 補助金収入	1,623,471	借入金等返済支出	305,784
資産運用収入	25,852	⑥ 施設関係支出	1,811,716
資産売却収入	892	⑦ 設備関係支出	106,450
雑収入	418,256	資産運用支出	18,643
借入金等収入	365,285	その他の支出	840,005
④ 前受金収入	1,995,819	⑧ 資金支出調整勘定	△600,972
その他の収入	944,726	次年度繰越支払資金	4,937,564
⑤ 資金収入調整勘定	△2,143,279		
前年度繰越支払資金	6,845,621		
収入の部合計	14,055,613	支出の部合計	14,055,613

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,753,595	⑩ 人件費	4,933,525
手数料	121,548	⑪ 教育研究経費	1,451,696
寄付金	110,109	⑫ 管理経費	505,862
補助金	1,623,471	資産処分差額	1,836
資産運用収入	25,852	徴収不能引当金繰入額等	309
資産売却差額	392		
雑収入	138,354		
帰属収入 合計	5,773,321		
⑨ 基本金組入額 合計	△1,681,286	消費支出の部 合計	6,893,228
消費収入の部 合計	4,092,035	当年消費支出超過額	2,801,193
		前年度繰越消費支出超過額	1,683,115
		翌年度繰越消費支出超過額	4,484,308

資産の部		負債・基本金及び消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	25,670,646	固定負債	4,160,355
有形固定資産	18,841,745	流動負債	3,045,829
その他の固定資産	6,828,901	基本金	28,576,368
流動資産	5,627,597	翌年度繰越消費支出超過額	4,484,309
資産の部 合計	31,298,243	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計	31,298,243

科目		科目	
金額	金額	金額	金額
1. 資産		2. 負債	
(1) 固定資産	25,670,646	(1) 固定負債	4,160,355
(2) 流動資産	5,627,597	(2) 流動負債	3,045,829
資産合計	31,298,243	負債合計	7,206,184
3. 正味財産	24,092,059	*借用財産(研修センター土地・建物)	



わたしたちの大学歌

古雅な言葉に将来への思いを託し

名古屋経済大学校歌

作詞 岡野弘彦
作曲 岡坂慶紀

濃尾の平野 晴れわた
巻に朝の とよみ湧く
胸に満ちくる 慈しみ
世の幸と 開かんと
われらはここに 学ぶなり
栄あれ 名古屋経済大学

二、
流れゆたけき 木曾・長良
峯うつ波の 音澄めり
人の真と 深めつつ
清しき富と 築かんと
われらはともに 励むなり
かがやけ 名古屋経済大学

三、
伊吹の峯に 雪しろく
大空冴えて 夕焼くる
耐える心の きびしさ
わが身のかぎり 極めんと
われらは常に 努むなり
永久なれ 名古屋経済大学

入学式や卒業式で歌われる大学歌の意味を考えてみたことはありませんか？平成十七年四月一日に制定された新しい大学歌には、二十一世紀へ向けての大学の理念が示されています。

作詞者の岡野弘彦先生は、一九二四年に三重県に生まれました。国文学者・民俗学者・歌人の折口信夫（（釈道空））博士に師事しました。岡野先生は、母校・國學院大学の教員として国文学や民俗学の研究に励まれると同時に、旺盛な作歌活動を展開なさっています。作歌の業績では、今までに現代歌人協会賞・釈道空賞・芸術選奨文部大臣賞・読売文学賞など多くの賞を受けられ、宮中新年歌会始めの選者ならびに宮内庁御用掛として皇族方に作歌のご指導をなさっています。

さて、大学歌の意味について、考えてみましょう。
一番の「とよみ」は、「とよむ（響む）」という動詞の準体言です。「二番「ゆたけき」「深めつつ」「清しき」あたりが注釈のいることばでしょう。それぞれ「豊かな」「深め深めして」「清しい」です。面白いのは「清しき」です。じつはこのこ

とばは、古語に見当たりません（「清し」は「古事記」や「源氏物語」にもみえます）。それを約めて「清し」といつてみたのですが、これはおそらく現代に生まれた新しいことばです。三番の「伊吹山」は、古来、信仰と深く関わる山でした。一番の大意は次の通りです。早朝、濃尾平野に生きる人々の響きがいっせいに湧き上がってくる。空も快晴、気分がよい。前向きな気分であると、自分のことだけではなく他の人々のことを思いやる余裕も生まれます。人々のことを思いやる気持ちが「慈しみ」です。人々の暮らしの「幸せ」を、学問の世界を通して実現させていこうという気持ちにもなります。この心持ちを胸に抱いて、私たちは名古屋経済大学で学ぶのだぞ！

「なり」というのは、強いことばです。現在の、「だ」とか「である」などよりも、よほど強い語感です。華やかに周りから引き立ってみえる状態を「栄」といいます。そういう状態であってほしいという強い願い、決意が「栄あれ」です。「あれ」は命令形。思いが、強いですね。二番の大意は次の通りです。木曾川・長良川の豊かな水の恵みは、流

れが岸を洗う水音からも明らかです。耳に届く水音はどこまでも清らかに澄んでいます。この水音を聴いていると、心も澄んで落ち着いてきます。世の中の雑事など、重大ではないと気づかされます。人間として生きていくために必要なほんとうのこと、「真」（まこと、真心、誠実）をどこまでも深く追究しようとする態度が大切なのです。真を深く深く追究します。そういう日々をこの学び舎で送ります。この追究は、やがて大きな実りをもたらすでしょう。こせこせとした俗人の態度は、いずれ滅びてしまうものです。だから、卑しい利潤の追求には従わず、美しい富を作り上げようと、私たちは手を携えて努力するのだぞ！この清らかな決意よ、神々しくいつまでも輝いておくれ。

「輝く」の古語「かかやく」は、単に光るという意味ではなく、神々しいものに対して添えられる美辞でした。ここにいる「富」は、ただ金銭の利益を指すのではなく、もつと幅広く心の豊かさだと考えるべきでしょう。三番の歌詞は、紙数の関係で省略します。
（経営学部助教授 高木史人）



FM放送に登場

毎木曜

愛知北エフエム放送（犬山市）で名古屋経済大学のラジオ番組「こんにちは Meikeidaiです」が十月からスタートしました。毎週木曜日のお昼十二時から十三時までの一時間、教員と学生がいっしょになって地域の皆さんに向けて情報発信しています。

愛知北エフエム放送は今年七月に犬山市に開局したコミュニティFM放送で、犬山市と扶桑、大口両町、そして小牧、江南、各務原の三市の一部を放送エリアとしています。短期大学部では開局前から愛知北エフエム放送と連携し本番組開始の準備を進めてきました。

十月五日の第一回放送は愛知北エフエム放送のスタジオから直接、野田昇司短大副学長らの声をお届けしました。二回目以降の番組は学内に今年五月に完成した放送スタジオで制作しています。放送内容ですが、現在は

キャリアアデザイン学科の水口美知子助教が番組の案内役となり、「ロハス」「教員研究室から」「ことば」の三コーナーの週と「時の歳時記」「教員研究室から」「アンディ・美知子の井戸端会議」の三コーナーの週とを交替で放送しています。「教員研究室から」のコーナーでは本学教員がその専門や関心のある事柄をわかりやすくお伝えしています。

この十月にキャリアアデザイン学科の学生を中心に学生のFM放送研究会も結成され、活動を本格的に開始しました。今後は番組での学生の活躍が期待されます。一度、木曜日のお昼にラジオをFM84.2MHzに合わせてください。お昼が忙しい方はその日の午前零時に再放送があります。

（短期大学部助教授代田義勝）
私たちの「児童文化研究会」は、このたび、愛知県大口町から同町百周年記念式典にて感謝状をいただき、部員一同感激しています。
「わらべ」は、二〇〇五年四月に幼児保育学科一年生六名の生まれたてのクラブです。結成早々、大口町北児童センターで初めての公演の機会を得ました。その後もホームグラウンドのように出かけ感謝しています。
現在、一年生七名を加えた十三名の部員は、すべて幼児保育学科在籍で、パネルシアター中心の活動を行っています。演

大口町から「感謝状」

人間生活科学部二年 荒川苑美
（児童文化研究会「わらべ」部長）

じる内容や子どもたちの遊びの幅をもう少し広げなければならぬと模索しています。今後もあらゆる活動の機会を楽しみながら、児童文化研究会「わらべ」を部員一同で育てていきたいと思ひます。



授業を通じ地域と協同



今年度、経済学部ではフィールドワークを主な柱とした授業「地域調査」が行われました。具体的には大田山南高等学校の児童・生徒、団地の自治会の方々にご協力いただきました。二つ目は聴き取り調査で、交番や塾、工場団地などで行いました。三つ目は野外調査で、アンケートや聴き取りにもとづき担当地域に出かけて現場を確認し、マップに添付する写真撮影をしました。こうして集めた資料を整理・分析し、グループ間で調整しながら各項目の表示形式を決め、パソコン上の地図に載せていきました。

この授業を通じて何度も地域に出かけ、多くの方々とコミュニケーションをとり、自分達の眼と足で現状を確認したことにより、地域への親しみが今まで以上に大きなものになりました。その後、地域全体を四つに分けて担当グループを決め、次の三つの調査活動を行いました。一つはアンケート調査で、大田山南高等学校の児童・生徒、団地の自治会の方々にご協力いただきました。二つ目は聴き取り調査で、交番や塾、工場団地などで行いました。三つ目は野外調査で、アンケートや聴き取りにもとづき担当地域に出かけて現場を確認し、マップに添付する写真撮影をしました。こうして集めた資料を整理・分析し、グループ間で調整しながら各項目の表示形式を決め、パソコン上の地図に載せていきました。

状況、地域の安全のためのコミュニケーション活動について話を伺うとともに、地域の方に解説していただきながら大田山南高等学校の児童・生徒、団地の自治会の方々にご協力いただきました。二つ目は聴き取り調査で、交番や塾、工場団地などで行いました。三つ目は野外調査で、アンケートや聴き取りにもとづき担当地域に出かけて現場を確認し、マップに添付する写真撮影をしました。こうして集めた資料を整理・分析し、グループ間で調整しながら各項目の表示形式を決め、パソコン上の地図に載せていきました。

りました。その過程でさまざまなアドバイスをいただき、大学の通常の授業では学べないことも学ばせていただきました。地図の作成作業はパソコン技術の向上につながりましたが、それ以上にアンケートの依頼文の作成や各所へアポイントメントをとる作業、御礼状の作成等は、卒業後、社会人となった時にも大いに役立つと思います。大学祭では、完成したデジタルマップを操作して報告会を行いました。地域の方々もおいで下さり、自分達が気付かなかった点を指摘していただきました。この授業が地域の方々と協同によって成り立っていることを改めて実感するとともに、自分達の成果が少しでも地域の役に立つことを嬉しく思います。



就職活動出陣式(10月5日)のガンバロー三唱

2/23学内合同企業展

学生の業界研究と就職意識を深めるため、本学恒例の「学内合同企業展」を次の通り開催します。

- ◇
- 開催日** 2月23日(金)
- 場所** 名古屋経済大学プラザⅡ
- 時間** 12:30~16:00
- 参加企業数** 約70社の予定
- 対象学生** 大学3年次生、短期大学部(保育科を除く)1年次生

☆参加企業の事業内容等、まとめた冊子を事前に配布しますので、十分に企業研究を行ってください。(キャリアセンター)

コンビニ決算を分析して発表

経営学部 経営学科
荒鹿善之ゼミナール

荒鹿ゼミは会計学専攻のゼミです。会計とは「企業の毎日の取引を記録し、それを決算書にまとめて経営成績などをさまざまな人々に報告する手続き」です。当ゼミでは、まず三年生で会計学の基礎を習得し、四年生で卒業論文の執筆に取り組みます。卒業論文では、実際に企業が公表している決算



書を手し、経営分析の手法を用いて各企業を分析します。企業が作成したナマのデータを材料に卒業論文を執筆します。業種・企業を選択はゼミ生みずから行います。昨年は卒業論文の前に、大学祭で研究発表を行いました。コンビニの決算書を素材に、ゼミ生で分担して三社を比較分析し、その結果を発表しました。当ゼミでは、過去に模擬店を出店したことはあったのですが、研究発表は初めての経験でした。夏休み前から膨大な量の計算に取り組み、その結果を自分で判断し文章にする作業はゼミ生にとっては大変だ

ったと思います。しかし、この研究発表は、大学生活の思い出作りのために「やってみよう」とゼミ生みずからが決断し、結果を出すことができましたという点で、非常に意義のあることだったと思われれます。特に現在の四年生は結束が強く、自分で判断し、それを実践する力を持ったゼミ生が多かったと思います。今回、大学祭の発表で学んだことは、各ゼミ生の卒業に生かされたと指導教授である私は確信しています。そして、社会に出てからもこの経験を生かし、仲間と結束して良い仕事をしてほしいと願っています。

保育をテーマに壁新聞発行

人間生活科学部 幼児保育学科
伊藤博美ゼミナール

幼児保育学科は保育者養成を主たる目的とした開設二年目の学科です。今年度の伊藤博美ゼミは、「基礎演習Ⅰ」にて「保育deホイホイ」という壁新聞を毎月発行。保育をテーマとした新聞記事について調べたことを各学生が記事にし、一枚の新聞に

まとめています。保育に関する基礎知識を身につけ、同時に不明な点はきちんと調べるといふ地道な作業の繰り返しを行っています。また「基礎演習Ⅱ」では「早期教育」をテーマとして、毎週本を一章ずつ読んでいきます。前期は二人でペアを組み、授業中のキーワードの抜き書きを経て、当番が要約を書く作業をしました。テキストの要約に慣れてきた後期は、授業の前々日に全員が八百字程度の要約を、当番二名が意見を提出し、授業の前日にそれ



らに目を通すという過酷な課題に取り組みんでいます。授業では、お互いの要約のいいところを評価し合い、順番に意見を出します。まだディスカッションとまではいきませんが、徐々に自然に意見が出るようになってきたようです。大学祭では「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」のそれぞれが模擬店を出し、盛り上げました。こうしたイベントの運営も保育者には必要な練習です。苦業を共にする経験が自分や他者へのケアにつながると信じています。

フェイス・トゥ・フェイス

本学に立ち寄り、二千円札両替



OB島袋さん、沖縄ー東京「平和行脚」

本学OB、島袋寛之さん(二七) 平成十四年、経済学部卒業写真の右から二人目 〓は沖縄県宜野湾市の劇団仲間二人とともに、「二千円札をもっと使いましょう」とPRのため九月に沖縄を出発、行く先々で買い物客らに二千円札を渡して両替してもらっています。

六年前、「九州・沖縄サミット」開催記念に二千円札が発行されました。この紙幣は首里城の守礼門が描かれ、沖縄の人々の平和への思いが込められています。しかし、その後は一回発行されたのみで市中の流通がはか

ばかしくありません。

沖縄の流通促進団体から「二千円札大使」に任命された島袋さんたちが「平和希求紙幣」として各都道府県を両替して回るようになったそうです。十二月の日銀本店到着をめぐり、その途中の十一月十七日、犬山市の本学キャンパスに立ち寄りしました。

話を聞きつけた学生と教職員が次々に千円札を持って集まりました。島袋さんらが用意した二千円札と両替したあと、「二千円札発行増加」を求める運動に賛同の署名をしたのは二百三十名。島袋さんは「母校はありがたい。後輩は温かい。訪ねてきてよかった」と喜び、東京へ向かいました。

法学部研究生二名 難関の試験に合格!

法学部研究生の池村光央さん (近藤研究室)

国家I種、国税専門官
裁判所事務官II種
郵政総合職(一次)
自衛隊幹部候補生
名古屋役所(法律職)

法学部研究生の尾崎有美さん (新美研究室)

郵政一般職(一次)
自衛隊幹部候補生
三重県庁中級(一次)
岐阜市役所(三次)
桑名市役所(二次)
(次号にお二人の紙上インタビューを掲載予定です)

内モンゴル 四名、合格決定



九月下旬に中国・内モンゴルでの現地入試を行いました。受験生は、省都府フォト市内にある内モン古智力引進外語専修学院と外国語培訓学院の在生で、現地入試は今回が初めてです。

両校とは、入試に関する協定を昨年に締結。九月二十四日、二十五日の二日間の入試に計十八名の応募がありました。日本語能力は、予想以上に高く、面接でも好印象を受けました。選考の結果、四名が経営学部合格しました。

ちなみに省都名の「フフホト」とは、「青い城」を意味するモンゴル語です。「師」や「縁」を尊ぶチベット仏教の寺院の青い屋根に由来するとのこと、留学生を通じて結ばれる両校との「縁」も今後大切に育まれることを願います。

(経営学部助教授 李彩華)

雨中転倒、学生さんに助けられました お年寄りから「お礼を言いた〜」

「先日、名古屋経済大学の学生さんに大変ご厄介になりました」というお礼状が本学に届きました。

七月十八日の昼ごろ、雨の中を神社に参拝して帰るとき、ひどく転倒、年のせいで起き上がることもできなかつた。そこは通学路で、自動車でも通りがかった一人の学生がすぐ手を差し伸べ、自宅まで送ってくれた。車の中も雨水で汚してしまい、そのつえ、お名前をうかがうことも忘れてしまつて〜

「お会いして心からお礼を申し上げたい」と書かれていました。学生の名前は不明ですが、うれしい話でした。(学生部)

知己の中国作家の話題作を翻訳

「人民に奉仕する」

法学部助教授 閻連科 著 谷川毅 訳 文藝春秋

中国の作家、閻連科氏は、最近その作品が発禁処分になったことで、日本の雑誌にも取り上げられました。縁あって私がその作品「人民に奉仕する」(文藝春秋)を翻訳しました。



沢東方歳を叫んでいたわけです。

「人民に奉仕する」は、その文化大革命が時代背景となっています。素朴で不器用で真っ直ぐであるがゆえに、お上にもならまれてしまうわけですが、彼が今後どのような題材を取り上げ、どんな作品を生み出していくのか、これからも注目していきたい作家です。

名経「会計人会」発足総会

先に発足した「名古屋経済大学会計人会」の第一回総会を兼ねた発足記念講演会が十一月四日、名古屋駅前ホテルキャッスルプラザで開かれました。

本大学院会計研究科の大江晋也教授を迎え、「平成十八年度税制改正における役員給与」について講演してもらいました。実務上、関心の高いテーマであり、百二十名を超える参加者が熱心に聞き入っていました。

総会には会員四十三名のうち三十三名が出席、米津晋次会長の役員紹介や活動方針の報告などがありました。さらに総会終了後、約七十名が集まって懇親会に移り、有益な情報交換でひとときを過ごしました。

同会計人は本大学及び大学院で



学び、会計士や税理士になった人たちがメンバーです。

問い合わせは佐藤豊和幹事長 (佐藤豊和税理士事務所)
☎〇五八―二六二―二二六五

新刊

知己の中国作家の話題作を翻訳

中国の作家、閻連科氏は、最近その作品が発禁処分になったことで、日本の雑誌にも取り上げられました。縁あって私がその作品「人民に奉仕する」(文藝春秋)を翻訳しました。

人民解放軍の師団長の妻とその師団長宅に雑用係として配属された下級兵士の情事を描いています。

閻氏とは、私の友人で中国の詩人・田原氏(谷川俊太郎の中国への紹介者として活躍中)を通じて知り合いました。閻氏が五八年生まれ、私が五九年生まれということで、同世代の親近感からか、あつという間に意気投合し、一昨年の夏には彼の案内で彼の故郷(河南省にある小さな農村で、かの少林寺の近く)を訪れました。

同世代とはいっても、私が日本高度成長の中、のほほんと漫画やグラフィア雑誌に夢中になっていたとき、彼は六六年から十年間続いた文化大革命の真っただ中、ただひたすら毛

四大学院が「単位互換に関する包括協定」(法学系) 結ぶ

名古屋地域の大学院による「単位互換に関する包括協定」(法学系)が結ばれ、平成十八年四月現在、名古屋経済大学、愛知学院大学、中京大学、名城大学の四大学院が加盟しています。学習機会の多様化に対応するため、

各大学院の学生が、他の大学院が指定する授業科目を履修し、単位を修得することを認める協定です。この協定では、履修期間、履修できる授業科目の範囲及び習得できる単位数、受け入れる学生数、履修方法、

成績の評価及び単位の授与などについては各大学院が定めることになっています。

また、この協定では聴講料を徴収しないことになっています。

(大学院法学研究科)

CAMPUS FESTIVAL

10.21(土)~22(日) 名経祭から



橋下徹弁護士トークショー



バトン部の演技



ステージのオープニング



お笑い芸人の参加で盛り上がりました

平成19年度(2007年度)入試日程

※選考方法については、「2007年度入学試験要項」にてご確認ください。

試験区分		学部・学科	出願期間(消印有効)	面接日または試験日	合格発表日
学 力 〈前期〉	A日程	全	平成19年1月11日(木)~1月22日(月)	1月28日(日)	1月31日(水)
	B日程		平成19年1月11日(木)~1月27日(土)	2月 2日(金)	2月 5日(月)
	C日程		平成19年1月11日(木)~2月 2日(金)	2月7日(水)・2月8日(木)	2月11日(日)
学 力〈後期〉		全	平成19年2月 9日(金)~2月22日(木)	2月27日(火)	3月 2日(金)
センター 利用試験	〈前期〉	全	平成19年1月11日(木)~1月31日(水)	本学独自の個別試験は 実施しません。	2月11日(日)
	〈中期〉	全	平成19年2月 9日(金)~2月22日(木)		3月 2日(金)
	〈後期〉	全	平成19年2月19日(月)~3月 5日(月)		3月 9日(金)
社 会 人		全	平成19年2月 9日(金)~2月22日(木)	2月27日(火)	3月 2日(金)

※学力試験の学外試験場について **[全日程]** 栄 [1/28] 半田・岡崎・豊橋・津・浜松・静岡・松本

課程試験区分		研究科・専攻	出願期間(消印有効)	面接日または試験日	合格発表日
法学研究科	修士Ⅱ期	法学	平成19年1月16日(火)~1月24日(水)	2月10日(土)	2月14日(水)
	博士後期	企業法学			
会計学研究科	博士前期	会計学	平成19年1月16日(火)~1月24日(水)	2月11日(祝)	2月14日(水)
	博士後期*				
人間生活科学 研究科*	修士Ⅰ期	幼児保育学	平成19年1月23日(火)~1月31日(水)	2月18日(日)	2月21日(水)
	修士Ⅱ期	栄養管理学	平成19年2月27日(火)~3月 7日(水)	3月11日(日)	3月14日(水)

*平成19年4月開設